



THE ADECCO GROUP

会社員から見たフリーランスに対するイメージとその実態調査

現役フリーランスは、収入よりも働きやすさを重視

会社員は、収入アップや副収入を得る働き方としての期待感が大きい

【2019年8月2日 東京】

人財サービスのグローバルリーダーであるアデコグループの日本法人で、総合人事・人財サービスを展開するアデコ株式会社（本社：東京都港千代田区、代表取締役社長：川崎健一郎、以下「アデコ」）は、会社や団体に働くビジネスパーソンでフリーランスとして働くことに興味がある300名と現役フリーランスとして働く300名を対象に、フリーランスという働き方に関するアンケート調査を実施しました。その結果、フリーランスとして働く現実と会社員がイメージするフリーランス像との間にはギャップがあることが分かりました。

<調査結果のポイント>

【フリーランスに関するアンケート結果まとめ】

1) 現役フリーランスと会社員がイメージする意識のギャップ

①フリーランスとして働くメリット

現役フリーランス：1位「自分のペースで仕事をしたい」、2位「自分のやりたい仕事をしたい」

会社員：1位「自分のペースで仕事ができる」、2位「収入を増やせる」

②フリーランスとして働くデメリット

現役フリーランス：1位「収入が不安定」、2位「社会的信用が低いこと」

会社員：1位「収入が不安定」、2位「自ら仕事をとってこななければならない」

2) 現役フリーランス意識調査

①約8割が、今後もフリーランスとして働きたい

②将来的な不安は、「顧客（仕事）の継続的な確保」

③職種によって年収に幅。最も多い年収層は、300万円未満

④仕事内容や仕事を自分の裁量ででき、会社員時代よりも充実している

3) 会社員意識調査

①副業としてのフリーランスに興味がある、約8割

②フリーランスを希望する理由は、「収入アップ」、「他の収入源の確保」

**<調査結果詳細>****(1) 現役フリーランスと会社員の意識比較****(1-1) フリーランスとして働くメリット****現役フリーランス：1位「自分のペースで仕事をしたい」、2位「自分のやりたい仕事をしたい」****会社員：1位「自分のペースで仕事ができる」、2位「収入を増やせる」**

現役フリーランス 300 名とフリーランスとして働くことに興味がある会社員 300 名に対して、フリーランスのメリットをそれぞれ質問したところ、1 位になった項目は、「自分のペースで仕事ができる」（現役フリーランス 60.7%、会社員 65.7%）でした。

一方で 2 位の回答は両者で分かれ、フリーランスは「自分のやりたい仕事ができる」（53.0%）、会社員は「収入を増やしたい」（63.7%）がランクインしました。「現役収入を増やしたい」は、現役フリーランスでは 12 位と他の項目よりも下位にあり、フリーランスにとってはそれ程重視していない項目であることが分かりました。

Q. フリーランスとして働くメリット (n=各 300、複数回答)

	現役フリーランス		会社員	
	回答率	ランキング	回答率	ランキング
自分のペースで仕事ができる	60.7	1	65.7	1
自身がやりたい仕事ができる	53.0	2	57.7	3
働く時間を自分で決められる	47.0	3	43.0	5
仕事以外の自分の時間を確保したい (ワーク・ライフ・バランスの充実)	35.0	4	30.7	9
自分のスキルや経験を極めたい	31.3	5	56.7	4
専門的な技術や資格を活かせる	29.3	6	19.0	13
職場の人間関係のストレスがない	28.7	7	29.0	10
一つの会社に縛られたくない	23.3	8	20.3	12
自分の力を試したい	21.3	9	32.0	8
働く地域や場所を選びたい	18.7	10	26.7	11
年齢（定年）に関係なく仕事をしたい	16.7	11	35.0	6
収入を増やしたい	16.0	12	63.7	2
自分の知見を広げたい	14.3	13	33.7	7
仕事の範囲や責任が明確	12.0	14	15.3	14

**(1-2) フリーランスとして働くデメリット****現役フリーランス：1位「収入が不安定」、2位「社会的信用が低いこと」****会社員：1位「収入が不安定」、2位「自ら仕事をとってこないといけない」**

フリーランスのデメリットと感ずることを現役フリーランスと会社員に質問したところ、両者とも1位は「収入が不安定」（現役フリーランス 72.7%、会社員 50.0%）をあげており、イメージと現実と乖離がない結果になりました。しかし、会社員の回答の5位にある「仕事する時間が増加する」（30.3%）というイメージに対しては、現役フリーランスでは上位にあがっておらず、これはメリットの1位になっている「自分のペースで仕事ができる」、3位の「働く時間を自分で決める」を裏付け、フリーランス自身の裁量で仕事をする事が可能である働き方であることが分かりました。

一方で、現役フリーランスが回答したデメリットとして2位に「社会的信用が低い」（42.1%）、6位に「福利厚生（研修支援、保養施設やスポーツクラブの利用など）が整備されていない」（28.9%）があり、フリーランスが働く労働環境には今後も一層の整備が必要ながうかがえます。

Q. フリーランスとして働くデメリット（n=各300、複数回答）

	現役フリーランス		会社員	
	回答率	ランキング	回答率	ランキング
収入が不安定	72.7	1	50.0	1
社会的信用が低いこと	42.1	2	20.3	10
確定申告の手続きが煩わしい	41.3	3	35.0	3
収入が減る	36.4	4	31.0	4
仕事を自ら取ってこなければならぬ	36.4	4	41.3	2
福利厚生（研修支援、保養施設やスポーツクラブの利用など）が整備されていない	28.9	6	15.3	15
年金制度や退職金制度などリタイア後の保障が会社員に比べて劣化する	28.1	7	21.7	7
自分で価格交渉をする必要がある	26.4	8	21.7	7
成果を出すことへのプレッシャー	24.0	9	25.0	6
仕事や事業について相談先がない	17.4	10	19.3	11
スキル向上のための自己学習	14.0	11	15.3	15
取引先と比較して立場が弱い	14.0	11	18.7	12
保険関連の切り替え手続きが煩雑である	10.7	13	20.7	9
特に苦勞していることはない	10.7	13	4.3	18
仕事する時間が増加する	9.1	15	30.3	5

**(1-3) フリーランスとして働くうえで求められるスキル****現役フリーランス：1位は「コミュニケーション力」、2位「柔軟性」、3位「時間管理能力」****会社員：1位は「コミュニケーション力」、2位は「交渉力、営業力」、3位「人脈・ネットワークを構築するスキル」**

フリーランスとして働くために重要だと思う能力について、会社員と現役フリーランスが考えるものには、若干の差異が見られる結果になりました。特に会社員では2位にランクインしている「交渉力、営業力」は、フリーランスでは11位とランキングの下位にあり、それ程重要とは捉えられていないことが分かりました。実際にフリーランスに必要な能力は、「柔軟性」や「時間管理能力」、「専門性」であることが明らかになりました。

Q. フリーランスとして働くうえで求められるスキル (n=各 300、複数回答)

	現役フリーランス		会社員	
	回答率	ランキング	会社員	回答率
コミュニケーション能力	51.7	1	52.7	1
柔軟性	47.3	2	40.0	5
時間管理能力	47.0	3	40.7	4
専門性	46.7	4	38.7	7
積極性・チャレンジ精神	44.7	5	37.3	8
適応力	44.3	6	36.7	10
表現力・創造力	43.7	7	29.7	15
マメさ、きめ細かさ	42.7	8	30.0	14
情報収集力	42.7	8	39.3	6
人脈・ネットワークを構築するスキル	41.0	10	43.7	3
交渉力、営業力	39.3	11	46.7	2
マネジメント能力	35.0	12	36.3	11
自己制御力	34.0	13	25.3	18
タスク管理能力	32.7	14	31.3	13
問題解決力	32.7	14	35.7	12



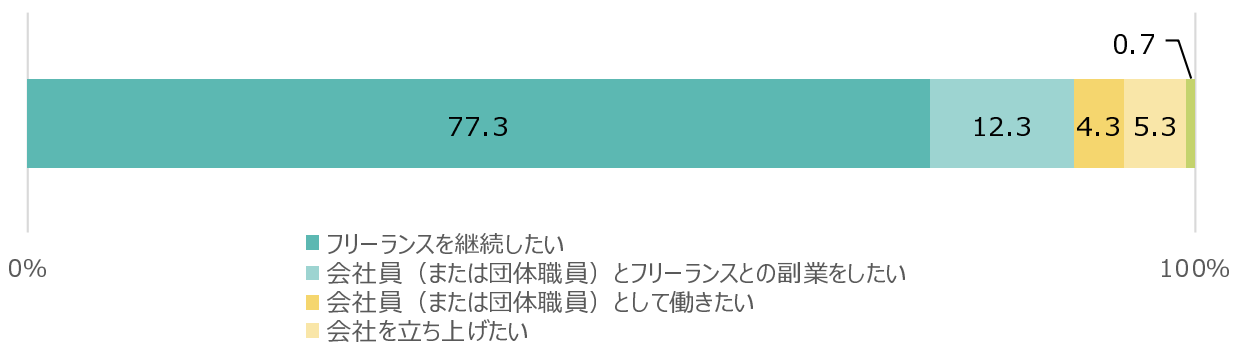
(2) 現役フリーランスの意識調査

(2-1) 今後の働き方

今後もフリーランスとして働きたいが約 8 割。会社員として働きたいは、わずか 4 %にとどまる。

現役フリーランス 300 名に対して「今後、希望する働き方」を質問したところ、77.3%が今後も「フリーランス」を継続したいと回答しました。その一方で、「会社員として働きたい」は 4.3%で、自分のペースで働くことができるフリーランスという働き方を今後も希望していることが分かりました。会社員と比較すると、「収入が不安定」、「社会的信用が低い」などのデメリットも感じているものの、それらを踏まえたうえで積極的にフリーランスという働き方を選択していることが分かりました。

Q. 現役フリーランスが希望する今後の働き方 (n=300)

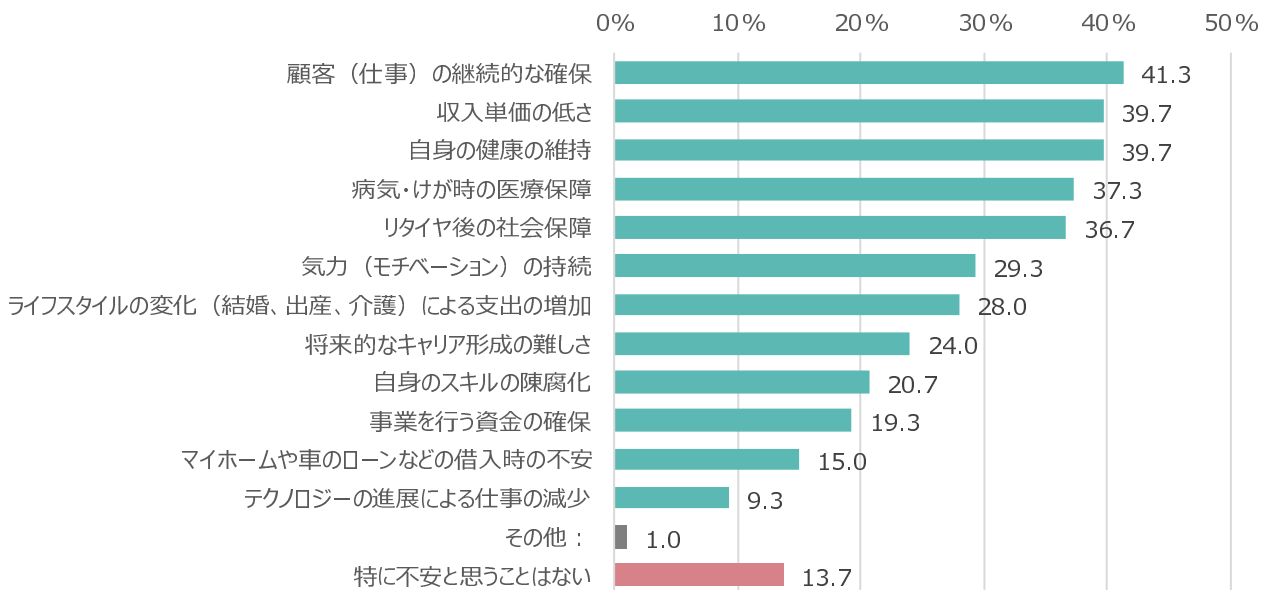


(2-2) 現役フリーランスが抱える将来的な不安

「顧客（仕事）の継続的な確保」に将来的な不安を感じる、その一方で約 1 割は「不安ない」

現役フリーランスに対して、何に将来的な不安を感じるかを質問したところ、「顧客（仕事）の継続的な確保」（41.3%）が最も多く、続いて「収入単価の低さ」（39.7%）、「自身の健康の維持」（39.7%）が続きました。その一方で、13.7%の人は「特に不安はない」と回答しています。

Q. 現役フリーランスが抱える将来的な不安 (n=300、複数回答)



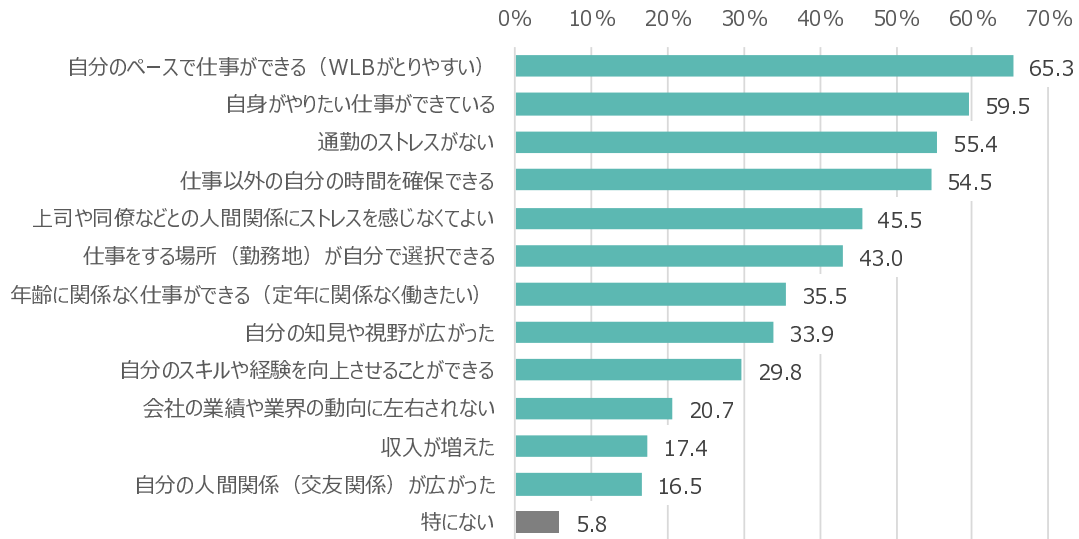


(2-3) 会社員よりも良いと思うこと

仕事内容や仕事を自分の裁量でできることが、会社員時代よりも充実している

過去に会社員として働いた経験がある現役フリーランス 121 名を対象に、会社員時代と比較してフリーランスでよかったことを質問したところ、「自分のペースで仕事ができる（ワーク・ライフ・バランスがとりやすい）」（65.3%）が最も多く、次いで「自分がやりたい仕事ができている」（59.5%）、「通勤のストレスがない」（55.4%）の順に多い結果になりました。

Q. 会社員時代と比較して良かったと思うこと（n=121）

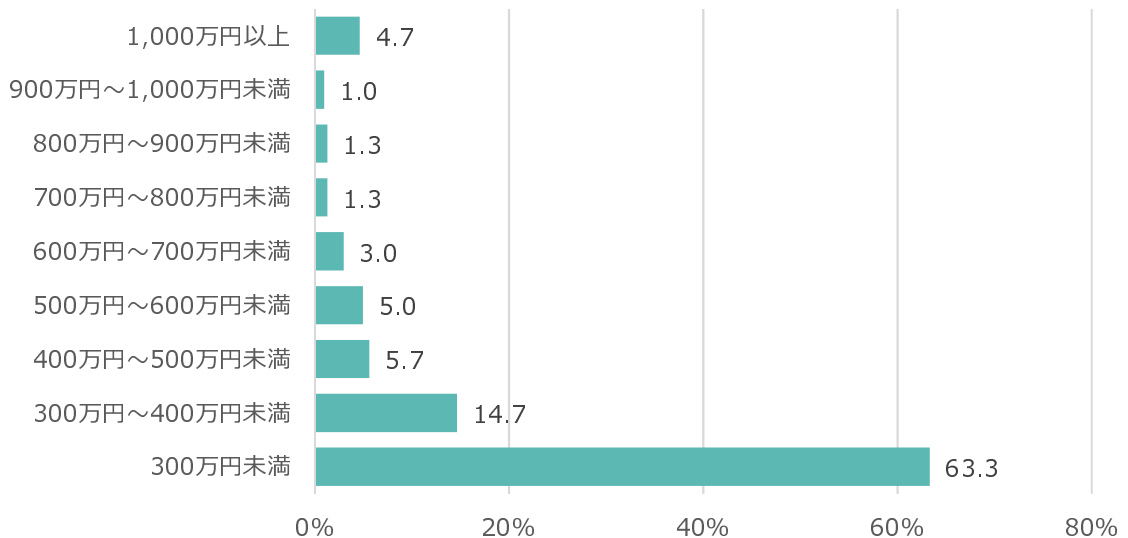


(2-4) 現役フリーランスの年収

職種によってフリーランスの収入レベルに幅。最も多い収入層は年収 300 万円未満。

現役フリーランスに過去 1 年間の個人年収を聞いたところ、300 万円未満が 63.3%、300 - 400 万円が 14.7%という回答になりました。一方で、年収 1000 万円以上と回答するフリーランスもあり、個人によって収入レベルに幅があることが分かりました。

Q. 現役フリーランスの年収（n=300）





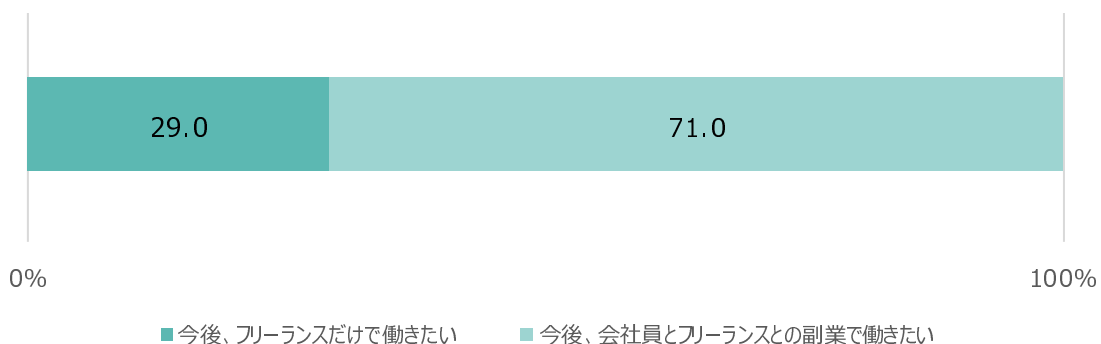
(3) 会社員の意識調査

(3-1) 会社員のフリーランスに対する志向

副業フリーランスとして働いてみたいが7割以上

フリーランスとして働くことに興味がある会社員を対象に「フリーランスだけで働きたい」のか「会社員とフリーランスとの副業で働きたい」のかを質問したところ、7割以上が「会社員とフリーランスの副業で働きたい」と回答し、会社員として安定した収入を得ながら、フリーランスに挑戦したいという志向が強いことが明らかになりました。

Q. フリーランスとして働く場合の志向（フリーランスのみ、会社員+フリーランス）（n=300）

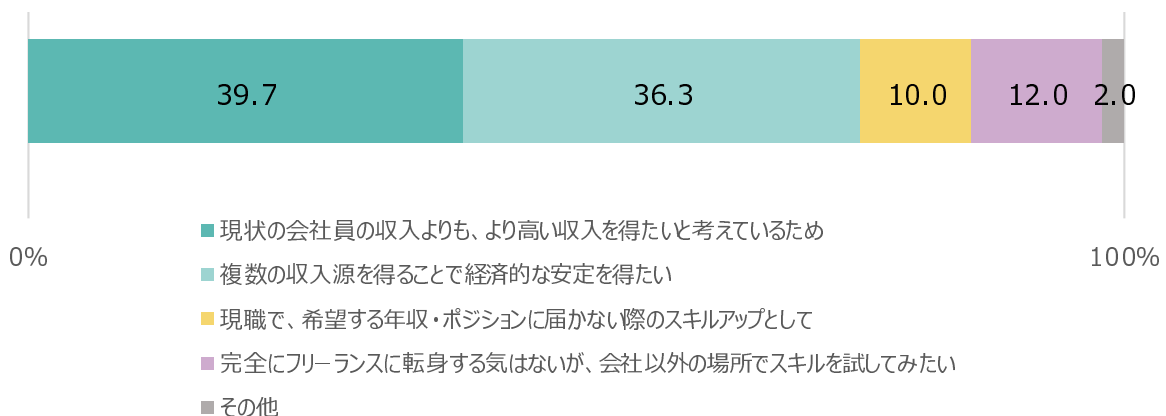


(3-2) フリーランスとして働いてみたい理由

フリーランスに挑戦したい理由は、より高い収入を得るため

フリーランスとして働くことに興味ある会社員を対象にその理由を聞いたところ、「会社員の収入よりも高い収入を得たい」（39.7%）、「複数の収入源を得て経済的な安定を得たい」（36.3%）の収入に関する理由からフリーランスに興味があることが分かりました。

Q. フリーランスとして働いてみたい理由（n=300）





THE ADECCO GROUP

【調査概要】

調査対象：現役フリーランスとして働く 300 名、会社員や団体に働くビジネスパーソン 300 名

調査方法：インターネット調査

実施時期：2019 年 6 月 25 日～29 日

アデコ株式会社について

アデコ株式会社は、世界 60 の国と地域で事業を展開する人財サービスのグローバルリーダーである The Adecco Group の日本法人です。コンサルティングを通じ、働くすべての人々のキャリア形成を支援すると同時に、人財派遣、人財紹介、アウトソーシングをはじめ、企業の多岐にわたる業務を最適化するソリューションを提供します。アデコはより働きがいを感じられる社会の実現を目指し、さらなるサービスの強化に取り組んでいます。当社に関するより詳しい情報は、www.adecco.co.jpをご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

アデコ株式会社 広報部

Tel. 050-2000-7024